

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

会 議 名	令和6年度 第2回高松市在宅医療介護連携推進会議
開 催 日 時	令和6年7月8日(月) 19:00~20:00
開 催 場 所	高松市医師会館 2階 大会議室
議 題	1 委員紹介 2 在宅病診連携部会担当理事紹介 3 各部会からの報告 4 高松市在宅医療支援センターの報告について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出席委員	20人 吉澤委員長、大原職務代理、綾田委員、石野委員、大橋委員、岡野委員、片山委員、北代委員、日下委員、玉井委員、辻委員、永岡委員、橋本委員、林委員、藤原委員、古川委員、松本委員、安田委員
関係者	市医師会事務局(6人) その他: 医師会(伊藤会長、香西副会長、和田副会長、西口理事、塩見理事、佐用理事、香川理事)
傍 聴 者	0人
担 当 課 及 び 連 絡 先	長寿福祉課 地域包括ケア推進係 839-2346 在宅医療支援センター 839-2344 保健医療政策課 839-2860 介護保険課 839-2326 地域包括支援センター 839-2811

協議経過及び協議結果

1 委員紹介

- ・令和6年7月1日より、委員の変更あり。
- 【変更前】綾歌地区医師会 理事 政田 哲也氏
- 【変更後】綾歌地区医師会 理事 安田 貢氏

2 在宅病診連携部会担当理事紹介

- ・在宅病診連携部会担当理事は、オブザーバーとして在宅医療介護連携推進会議に出席する。

3 各部会からの報告

(1) ICT 部会

- 6/5 第1回 ICT 部会
 - ・入退院支援情報共有システムの使用感の感想や課題の共有を行った。
 - ・多職種連携情報共有システム「バイタルリンク」について紹介。
 - ・徳島市医師会が作成したオリジナルマンガの紹介。

○ 在宅ケア便利なびの更新について

- ・高松市内で、サービス提供をしている坂出市の事業所から掲載依頼があった。市外事業所の便利帳掲載可否について多数決を実施し、賛成多数により掲載することとした。

A 委員

- ・高松市内の事業所全てが在宅ケア便利なびに掲載されているわけではなく、掲載を申請した事業所のみである。市外事業所で、高松市内においてサービス提供している事業所が複数あったとしても、申請をしてきた事業所を掲載するという対応でよいのではないか。

I 委員

- ・掲載方法について、事業所の営業時間が記載されているのに、24 時間対応と追記することで、一般市民が閲覧した際、混乱しないか気になる。

(2) 退院支援・医療介護連携部会

○ 医療介護連携ミーティングについて

- ・開催日時や講師について説明する。
- ・現在、51 名の多職種から申し込みがあった。

○ 入退院支援ルールの見直しについて

- ・診療報酬、介護報酬の改定内容を踏まえて見直しを検討中。厚生労働省が示した、情報共有シート様式を参考に検討している。

○ 入退院支援情報共有システムについて

- ・ICT 部会で検討中のクラウド化について、意見を収集する。情報共有のための項目の再検討や運営方法など検討課題がある。

A 委員

- ・医療介護連携ミーティングについて、各職能団体に配布されたチラシを活用して、周知してほしい。

(3) 在宅医療コーディネーター部会

○ 令和 6 年度 在宅医療コーディネーター養成研修について

- ・全 6 回の講義とスキルアップ研修を 2 回開催する予定であり、第 5 回目の講義を、多職種連携部会にて検討中の市民公開講座とする。
- ・令和 6 年度から、管理栄養士も受講可能資格とする。
- ・第 6 回目の公開講座は、食支援をテーマとして取り上げる。
- ・スキルアップ研修は、1 回目はコーディネーター同士の意見交換や事例検討を行い、2 回目は、認知症をテーマに取り上げる予定である。

C 委員

- ・今年度は、栄養をキーワードに取り組みたい。管理栄養士にも受講してもらいたい。

A 委員

- ・今年度は 1 人の医師もしくは委員から、原則 1 名のみ推薦とすることとした。

(4) 多職種連携部会

○ 5/13 第 1 回 多職種連携研部会

- ・令和 7 年 2 月 24 日（月・祝）開催の市民公開講座の内容について検討する。

B 委員

- ・劇団たんぽぽによる、看取りや人生会議をテーマにした演劇を行う予定である。演劇以外の内容について、第2回多職種連携部会にて、さらに検討する。

4 高松市在宅医療支援センターの報告について

- 令和6年5・6月の活動報告

【相談件数】5月：30件、6月：31件

【事例紹介】生活困窮に関する相談について、関係機関につないだ事例を紹介する。

C 委員

- ・訪問診療をしている診療所等が、新型コロナ対応ができずに救急搬送するように指示するところがある。地域全体で、患者をケアする意識で関わっていく必要があると感じる。

A 委員

- ・香川県は、在宅療養支援病院や在宅療養支援診療所が少ない。訪問看護事業所や地域の診療所と連携する等の工夫をして、取り組んでいく必要がある。

5 その他

(参考) 令和5年度 第6回 高松市在宅医療介護連携推進会議

【次回の会議】 令和6年9月9日(月) 19:00～ 高松市医師会